

家庭学習カード

年 組 番 名 前

1 漢字の練習・意味調べ

- 今までに勉強した習った漢字をノートに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。
- 例：「算」という字なら「算数」「計算」のようなじゅく語や、「計算ドリルをする」のように短文で
- 反対の意味の言葉、「へんとつくり」などに気をつけて練習しましょう。
- 例：「きへん」のつく言葉をノートに書く。
- 「明るい」 ↔ 「暗い」のようにノートに書く。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。調べたらノートに意味を書いておきましょう。

2 読書

- いろいろな種類の本を読みましょう。

3 視写

- 教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましょう。
- 文や言葉をかたまりごとに見て、一気に書き写しましょう。

4 音読

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。
- すらすら読めるように練習しましょう。

5 日記・作文

- 意味調べをした熟語を使って短文を作る。
- 心に残った出来事に題名をつけて、習った漢字をできるだけたくさん使って書きましょう。
- ニュースや身の回りの事柄から自分でテーマを決め、意見を書いてみましょう。
- （目にとまった新聞記事を切り抜いておくとよい）

6 算数の教科書やドリル・プリントの問題

- その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましょう。
- 問題をといたら丸付けをしましょう。
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。
- 今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といてみましょう。

7 理科・社会

- 教科書を読む ○ 地図学習（国名・県や地域・都市名などを覚える）
- その日に勉強したところや、今勉強するところを読んでみましょう。（予習・復習）
- わからない内容や興味のあることを 図鑑や事典・インターネットなどで調べる。
- ノートに書いたり、〇〇新聞などにまとめたりする。

8 その他

- 慣用句、四字熟語 ○ お手伝い ○ リコーダー練習 ○ 体力づくり（なわとび・ストレッチ） ○ くつ洗い
- 家にある問題集をするのもいいですね。
- 上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。

保護者の皆様へ

堀兼小学校、新狭山小学校、堀兼中学校では、9年間を通して連携し、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。学力の向上のためには、家庭の協力が必要です。家庭と協力し合うことで、さらに子どもたちの力は何倍にも高められます。家庭学習の習慣化が子どもたちの「生きる力」を高めていくと考えられます。ご協力をお願いします。



家庭学習の内容

- 1 学校からの宿題
音読、漢字・計算練習（ドリル・プリント）、日記など
- 2 自主学習
授業の復習予習
自分が興味あることの調べ学習など

家庭を学びの環境へ

- 基本的な生活習慣を見直しましょう。
「早寝、早起き、朝ごはん」
- 家庭の学習環境を整えましょう。
「決まった場所で一定の時間、テレビを消して学習に取り組みましょう。」

家庭学習のめやす （宿題を含めて）

- 1年生 10分以上
 - 2年生 20分以上
 - 3年生 30分以上
 - 4年生 40分以上
 - 5年生 50分以上
 - 6年生 60分以上
 - 中1 70分以上
- あくまでめやすです。